FROM KOREA

姜信子の韓国通信

REPORT by Mrs.NOBUKO KYO

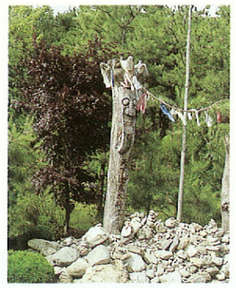
무서운 이야기

ムソウン イヤギ

怖い話

姜信子さん

フリーライター。ノンフィクション「ごく普通の在日韓国人」で朝日ジャーナル賞受賞。
熊本と韓国の交流推進のため、韓国・忠清南道庁に県職員として初めて派遣された夫とともに昨年5月下旬に渡韓。



▲邪をはらうと信じられている「チャスン」

▲お墓を守る石人

▲忠清南道牙山郡顯忠祠忠武門

どういうわけだか、韓国には幽霊があまりいない。夏こそ怪談をと、知り合いの韓国人達に日本の幽霊の話をすれば、九九パーセントは怖がるどころか笑い飛ばす。

トッケビという名の日本で言えば鬼に当たるものや、鬼神（キシン）と呼ばれる幽霊の類が存在することはするのだが、あくまでも物語の世界の話と受け取られているらしい。

幽霊なんかよりもっと怖いことを現実に体験してきた歴史がそうさせるのだろうか。ふと、そう思ったりもするのだが、これは私の勝手な思い込みかもしれない。

六月から八月にかけて、韓国では歴史回顧のシーズンとなる。幼稚園で習ってきた娘によれば、「軍人のおじさんにありがとうを言う日」である「顯忠の日」が、六月六日。この日には朝鮮戦争の時に殉職した人々の慰霊の行事も国立墓地で行われる。

六月二十五日は国土全体が戦場になった朝鮮戦争勃発の日である。こちらではこの戦争を六・二五の韓国語読みで「ユギオ」と呼ぶ。この日を前にして、テレビではユギオ特集が目白押しになる。新聞紙上でも様々な人々が当時のことを回顧したり、討論したり、大きなスペースをさいている。熊本映画祭にも来たことのある俳優安孫基が主演する朝鮮戦争をテーマにした映画「南部軍」も上映中で、大きな話題をさらっている。同じ民族同志が戦い、民族の分断をもたらした朝鮮戦争の記憶はここではまだ生々しい。

今年で朝鮮戦争勃発以来四十年になる。アメリカのある雑誌によれば、この戦争に参加したアメリカ軍はベトナム戦争の時とほぼ同程度の死者を出している。

当時、韓国軍は約九十九万人が死傷し、南北合わせて民間人約二百万人が死んだ。さらには戦争によって、一千万人にも達する離散家族が生まれたとも言う。ちなみに当時の韓国の人口は、現在の約半分、二千万人ほどである。

朝鮮戦争の前には日本の支配があった。それが南北分断の遠因だと言う人々も多い。それが本当にそうなのかどうか、韓国の人々と語り合えるくらいの歴史知識が日本人には必要な気がする。なにしろ、一九四五年の八月十五日に終わった三十六年にわたる韓国の植民地時代の歴史は、日本史の一部でもあるのだから。

我がアパートの前には、植民地時代に日本が作った刑務所の監視塔が残されている。監視塔のすぐそばには慰霊塔が立っている。その刑務所では、植民地時代にも朝鮮戦争当時にも、多くの人々が死んでいる。そういう話を聞いて、歴史に思いをはせる以上に、その犠牲者たちが我が家に恨みを訴えに来たら怖いなあなどと思うのは、やはり、日本的な感覚なのかもしれない。

▲ 日帝時代の「大田刑務所」跡の監視塔

HOT LINE

先日、金沢から大阪で夜行列車「なは」に乗り換え、翌朝、熊本県に降り立ちました。

北国と違い、屋根瓦の色も、野に咲く花の種類も異なり、南国情緒を味わいながら楽しい旅ができました。

「だご汁」を食べたそば屋の女将さんの方言は、よくわからなかったのですが、熊本は暖かく、やさしさにあふれた街のように見え、遠くから熊本ファンになってしまいました。

（金沢市　酒井正二）

初めてお便り致します。私は青年海外協力隊員として、アフリカのマラウイで臨床検査技師をしています。

五月に、Lions Club が主催するチャリティ・バザー〝MAY FAIR〟がありました。出しものは、バザーがキャッサバチップスと砂糖きびジュース、ゲームがカバの的あてと三角くじでした。バザーの目的は土地の物を他の料理法で作ってみようというもの。キャッサバチップスはも10という破格値でたちまち売り切れました。五時には全部終わり、打ち上げで食べたカニャニャ（焼き肉）とビールのおいしかったこと。楽しい一日でした。

●ニュース●

五月の初め、アマチュア無線の許可がおり、無線を始めた隊員がいます。是非交信してみて下さい。

NAME／YOSHITAKA KAWAKU 7Q7JA28, 450-28, 550MHZ JST00:00-01:00 が良いそうです。

（マラウイ在住　上野 真奈美）

※KW1＝約50円、KW1＝t100

お便り募集

みなさんの身近な情報（出来事・季節の変化・風景・感想など）を200～400字程度にまとめてお送りください。（採用された方には〝風テレホンカード〟をプレゼント）

●あて先

〒862 熊本市水前寺6丁目18-1
熊本県広報課「くまもとの風」係
☎(096)382-9780

たくさんのお便りをお待ちしています。

愛読者募集

県では、県政広報紙KAZE（くまもとの風）の愛読者を募集しています。
「くまもとの風」は、くまもとの新しい動きやユニークな人、県下各地の催物などを、写真やイラストを織り混ぜてお届けする広報誌です。あなたも、この機会に「くまもとの風」で素敵な出会いを体験してみませんか。

■発行／偶数月発行 年6回 ■郵送料として／1,500円（郵便切手でお願いします。）
■お申し込みは／〒862 熊本市水前寺6丁目18番1号 熊本県広報課「くまもとの風」係

さわやか～ぜ

●表紙イラスト 阿津坂雅弘

表紙のことば

私の「風」のイメージは、いつも自然の中から生まれてくる憧景や幼い頃の記憶のかけらにたどりつきます。子供の時ほど夏が好きではなくなりましたが、縁側から眺めたシンプルな朝顔の 花と、風に戯れるとんぼの姿は今でも好きな夏の風物のひとつです。

●シーン'90 撮影のことば

長野良市

外観の斬新で優しいフォルムとはちがい、写真にある内観の吹抜は、建物を支える力強さと、警察署としての堅牢さを感じました。

編集後記

ペルー共和国次期大統領アルベルト・フジモリ氏の熊本への「ふるさと凱旋」がありました。「初の日系人大統領」の盛り上がりが一時の騒ぎに終わらないよう、これを機に南米ペルーとの相互理解を深め、友好の手を差し伸べたいですね。「フジモリ・ペルー支援の会」（代表 細川護熙知事）では、募金の口座を開設してみなさんのご協力をお待ちしています。

【振込先】
「フジモリ・ペルー支援の会」
肥後銀行県庁支店 普通 1341493
郵便振替口座番号 熊本-9-45509
◆お問い合わせは県国際課まで◆

CONTENTS

1-2 風のコンパス～デザイン～
3-8 特 集 ～デザイン～
9-10 トーク&トーク ～井 輝男さん～
11-12 熊本人物水路 ～実学党の人々～
13-14 シーン'90
15-16 風を探して ～ママさん探訪記～
17-18 熊本六街道 ～薩摩街道～
19-20 くまもと北から南から ～久木野村・河浦町～
21-22 くまもと情報Box ～阿蘇環境デザインセンター・再生紙・竹割ばし～
23-24 風の告知板
25 姜信子の韓国通信
26 HOT LINE・さわやか～ぜ